

日本視覚学会2017年夏季大会プログラム

期 日：2017年9月6日(水)～8日(金)

場 所：島根大学 松江キャンパス

〒690-8504 島根県松江市西川津町 1060

(<http://www.shimane-u.ac.jp/>)

会場はJR松江駅よりバスで約20分(市営バス, 一畑バス, 「島根大学前」下車), タクシーで約10分です。空路では, 出雲空港, または, 米子空港からはJR松江駅行きの空港リムジンバス(所要時間 出雲空港30分, 米子空港45分)でJR松江駅まで移動し, 上記の経路をご利用下さい。鉄道をご利用の場合は, JR岡山駅から, 伯備線・特急やくもでJR松江駅まで約2時間40分です。各主要都市からもJR松江駅に高速バスが運行されています。

主 催：日本視覚学会

共 催：島根大学

- ・一般講演・シンポジウム・特別講演の会場は「大学ホール」, ポスター発表の会場は「教養棟1号館 101教室」です。
- ・一般講演(口頭発表)は発表時間15分, 質疑5分の計20分です。
- ・一般講演で使用するPCはご自身でご用意ください。D-subプラグと接続できない方は変換アダプタをご自身でご用意ください。講演者は発表セッションの前に使用機材のご確認をお願い致します。
- ・一般講演での機材不備(PC再起動など)による遅れは発表時間と見なされます。
- ・ポスター発表でのパネルの大きさは, 横115cm×縦174cmです。取り付け用のピンは会場に用意されます。貼付と撤去は各セッションの開始前・終了直後に行ってください。
- ・ポスター発表の在席責任時間は, 奇数番号は前半の60分, 偶数番号は後半の60分とします。
- ・使用言語は, 日本語または英語です。
- ・懇親会は, 9月7日(木) 18:30よりサンラポーむらくもで開催します。

日本視覚学会2017年夏季大会タイムテーブル

	9月6日(水)	9月7日(木)	9月8日(金)
9:00			
9:30-10:30	研究紹介	セッション4 一般講演	セッション8 一般講演
11:00-11:40	セッション1 一般講演	セッション5 一般講演	セッション9 一般講演
12:00		世話人会 11:40- 教育学部棟1階IPMルーム	総会 11:40- 大学ホール
13:00-15:00	セッション2 ポスターセッション(1)	セッション6 ポスターセッション(2)	セッション10 特別講演 山田光穂(東海大) Min-Chul Park (KIST)
15:00	セッション3 シンポジウム(1) 視覚誘導自己運動に基づいた空間知覚研究の将来	セッション7 シンポジウム(2) 両眼視差による立体画像をこえて	14:20- クローゼィング
17:30	幹事会 17:30- 教養棟1号館102教室	懇親会 18:30- サンラポーむらくも	

1日目 (2017年9月6日水曜日)

9:25- 開会

実行委員長：矢野澄男 (島根大学)

9:30-10:30 研究紹介

10:30-11:00 休憩

11:00-11:40 セッション1 (一般講演)

座長：坂田勝亮 (女子美術大学芸術文化専攻)

1o01 加法的色変換による変換画像の色の恒常性

北岡明佳 (立命館大学総合心理学部)

1o02 自動車塗色における色差の感じ方に対するマルチアングル連続変化曲線とL*u*v*表色系の適用

若井宏平¹, 中山 泰², 神澤啓彰²
(株式会社クリイノ創研¹, ダイハツ工業株式会社²)

11:40-13:00 昼休み

13:00-15:00 セッション2 (ポスターセッション)

1p01 ARグラス着用者の不注意の計測

中山拓哉¹, 後藤悠斗², 平野成伸², 葭田貴子¹
(東京工業大学工学院¹, 株式会社リコー²)

1p02 口呼吸と鼻呼吸による視覚探索への影響

吉村直人¹, 米満文哉¹, Fernando Marmolejo-Ramos², 山田祐樹³
(九州大学大学院人間環境学府¹, School of Psychology, the University of Adelaide², 九州大学基幹教育院³)

1p03 単一刺激系列と複数刺激系列を用いた Attentional Blink 課題における上下視野異方向性についての検討

三好正剛¹, 一川 誠² (千葉大学大学院人文社会科学部¹, 千葉大学文学部²)

1p04 交差・反発知覚の運動方位依存性

郷原皓彦^{1,2}, 山田祐樹³ (九州大学大学院人間環境学府¹, 日本学術振興会特別研究員², 九州大学基幹教育院³)

1p05 周辺ドリフト錯視によるバクシオンにおけるフリッカーの効果

藤本花音, 蘆田 宏 (京都大学大学院文学研究科)

1p06 回転中心軸動揺錯視に対する回転速度の影響

中嶋 豊¹, 角田翔平², 佐藤俊治^{2,3}
(成蹊大学理工学部¹, 電気通信大学大学院情報システム学研究所²,

- 1p07 視覚と前庭感覚の統合による垂直軸周りの身体回転知覚
齊藤亮太, 久方瑠美, 金子寛彦 (東京工業大学工学院情報通信系)
- 1p08 先行刺激がベクション潜時に及ぼす効果
倪 婧¹, 伊藤裕之^{2,3}, 小川将樹², 須長正治^{2,3}
(九州大学大学院芸術工学府¹, 九州大学大学院芸術工学研究院²,
九州大学応用知覚科学研究センター³⁾)
- 1p09 ランダムドットパターンの経時的変化が主観的時間長に与える影響
富松江梨佳^{1,2}, 中島祥好¹ (九州大学大学院芸術工学研究院¹, 日本学術振興会²⁾)
- 1p10 遮光レンズがコントラスト感度へ与える影響の検討
長尾祥奈¹, 澤田 園², 長 篤志¹
(山口大学大学院創成科学研究科¹, 市立長浜病院眼科²⁾)
- 1p11 高コントラスト環境下における明度弁別閾の不均一な上昇
深谷祥孝¹, 岩井田早紀¹, Anis Rehman², 大塚作一¹
(鹿児島大学大学院理工学研究科¹, 鹿児島工業高等専門学校²⁾)
- 1p12 色と光沢が同時に異なるオブジェクトの見えの差の予測方法の実物体による確認
鎰谷賢治¹, 内川恵二² (株式会社リコーリコーICT研究所¹,
神奈川大学人間科学部・マルチモーダル研究所²⁾)
- 1p13 能動的な手首の運動も Visual awareness を加速する
木村匠吾, 菟田貴子 (東京工業大学工学院)
- 1p14 操作対象の見た目と動作は身体所有感・操作主体感の生起に関連するか
田島大輔¹, 菟田貴子²
(東京工業大学大学院理工学研究科¹, 東京工業大学工学院²⁾)
- 1p15 映像内の他者の社会的存在—二者の眼球運動同時計測による検討—
中村遥香¹, 神谷聖耶², 菟田貴子³ (東京工業大学工学院機械系¹,
東京工業大学大学院理工学研究科², 東京工業大学工学院³⁾)
- 1p16 2名の眼球運動の同時計測はソーシャルインタラクションの計測に役立つか—リカ
レンスプロットによる検討—
神谷聖耶¹, 中村遥香², 菟田貴子²
(東京工業大学理工学部研究科¹, 東京工業大学工学院²⁾)
- 15:00-17:30 セッション3 (シンポジウム(1)「視覚誘導自己運動に基づいた空間知覚研究の将来」)
座長: 近江政雄 (金沢工業大学)
- 1s01 逆転ベクションから探る自己身体と空間の階層構造
櫻井研三 (東北学院大学心理学研究室)

- 1s02 視覚誘導自己運動知覚の適応変化的側面
金子寛彦¹, 森平 良²
(東京工業大学工学院情報通信系¹, 東京工業大学大学院総合理工学研究科²)
- 1s03 自己運動の知覚と歩行追体験
北崎充晃 (豊橋技術科学大学大学院工学研究科)
- 1s04 視覚誘導性自己運動知覚に及ぼす視覚刺激の知覚的剛体性の効果
中村信次 (日本福祉大学全学教育センター)
- 1s05 視覚による自己運動推定の神経基盤
和田充史 (情報通信研究機構/大阪大学脳情報通信融合研究センター)
- 1s06 映像酔いにおける視覚運動量と観視条件との効果
氏家弘裕, 渡邊 洋 (産業総合研究所)

17:30- 幹事会

2日目 (2017年9月7日木曜日)

9:30-10:30 セッション4 (一般講演)

座長: 佐藤雅之 (北九州市立大学国際環境工学部)

- 2o01 垂直像差に対する神経活動は水平像差に基づく奥行き知覚を予測する
光藤宏行¹, 廣永成人², 緒方勝也², 飛松省三²
(九州大学大学院人間環境学研究院¹, 九州大学大学院医学研究院²)
- 2o02 裸眼で画質が劣化しない二眼式ステレオに対する視覚情報処理
西田真也, 吹上大樹, 河邊隆寛
(NTTコミュニケーション科学基礎研究所)
- 2o03 ホログラフィックステレオグラムにおいて再生される平面像数と滑らかな知覚の関係
中村健太郎, 田代知範, 永井岳大, 山内泰樹 (山形大学大学院理工学研究科)

10:30-11:00 休憩

11:00-11:40 セッション5 (一般講演)

座長: 大塚作一 (鹿児島大学大学院理工学研究科)

- 2o04 高精細動画像の表示画角選好に関係する要因
原澤賢充, 澤島康仁, 小峯一晃 (NHK放送技術研究所)
- 2o05 AIRRによる空中ディスプレイにおけるhollow face錯視
黒川菜緒, 伊藤秀征, 山本裕紹 (宇都宮大学)

11:40-13:00 世話人会・昼休み

13:00-15:00 セッション6 (ポスターセッション)

- 2p01 斜視に起因するステレオブラインドにおける自然学習による限定的な立体視機能の存在
吉留大智, 松本敏也, 大塚作一 (鹿児島大学大学院理工学研究科)
- 2p02 画像切り替え後の画像知覚特性に及ぼす焦点調節誤差の影響
大井伸天, 北畠 周, 松井利一 (群馬大学大学院理工学府知能機械創製部門)
- 2p03 面の傾き知覚ための奥行き手がかり統合過程における時間特性
張 奇¹, 久方瑠美², 金子寛彦²
(東京工業大学大学院総合理工学研究科¹, 東京工業大学工学院²)
- 2p04 大きな奥行き知覚における両眼網膜像差, 運動視差, 絵画の手がかりの相互作用
荒牧大希¹, 玉田靖明², 佐藤雅之²
(北九州市立大学大学院国際環境工学研究科¹, 北九州市立大学国際環境工学部²)
- 2p05 自然なシーンの中の顔検出の発達
小林 恵¹, 金沢 創², 山口真美³
(自然科学研究機構生理学研究所システム脳科学研究領域¹,
日本女子大学人間社会学部², 中央大学文学部³)
- 2p06 表面知覚の恒常性における影知覚の影響
佐藤夏月¹, 山口真美¹, 金沢 創² (中央大学¹, 日本女子大学²)
- 2p07 日本語母語乳児における発話者への視覚的注意の発達的变化
氏家悠太¹, 金沢 創², 山口真美¹ (中央大学¹, 日本女子大学²)
- 2p08 読み書き困難児と定型発達児における oblique 効果
隅田浩子¹, 前原吾朗² (神奈川大学大学院人間科学研究科¹, 神奈川大学²)
- 2p09 短時間提示における両眼傾き対比の生起要因について
原田新也¹, 光藤宏行²
(トリニティカレッジ出雲医療福祉専門学校¹, 九州大学大学院人間環境学研究院²)
- 2p10 Exploration of color and pattern combinations of Chinese “red envelope”
廖 松陽¹, 坂田勝亮² (女子美術大学大学院美術研究科¹, 女子美術大学²)
- 2p11 絵画の色彩選好に対する文化依存性とユニバーサルティ
近藤泰成¹, 三崎幸典², 東 広志¹, Sergio M. C. Nascimento³, 中内茂樹¹
(豊橋技術科学大学情報・知能工学系¹, 香川高等専門学校²,
Centre of Physics, University of Minho³)
- 2p12 刺激呈示タイミングのズレによるエビングハウス錯視の変調
高尾沙希, 渡邊克巳 (早稲田大学理工学術院)
- 2p13 刺激間距離と偏心度の増大に対応した大きさ縮小錯視
上地泰一郎¹, 一川 誠² (千葉大学大学院融合理工学府¹, 千葉大学文学部²)
- 2p14 視覚印象を表現するための周辺視野における大きさ知覚に関する研究
伊達大晃¹, 長 篤志¹, 長田和美²
(山口大学大学院創成科学研究科¹, 山口大学研究推進機構²)
- 2p15 瞳孔の同期が顔画像の印象に与える影響
前田悠貴, 久方瑠美, 金子寛彦 (東京工業大学工学院情報通信系)

2p16 フラッシュラグ効果を用いた質感知覚の時間特性に関する検討
高倉健太郎¹, 後藤直人², Chia-huei Tseng^{1,3},
松宮一道^{1,3}, 栗木一郎^{1,3}, 塩入 諭^{1,3}
(東北大学大学院情報科学研究科¹, 東北大学工学部²,
東北大学電気通信研究所³)

15:00-17:05 セッション7 (シンポジウム(2)「両眼視差による立体画像をこえて」)

座長: 矢野澄男 (島根大学)

- 2s01 奥行き知覚への連続的な運動視差, 視差画像の混合の効果
陶山史朗¹, 山本裕紹², 水科晴樹¹
(徳島大学工学部光応用工学科¹, 宇都宮大学オプティクス教育研究センター²)
- 2s02 光と熱のマルチモーダル空中ディスプレイ
山本裕紹^{1,2}, 陶山史朗³, 久次米亮介^{1,2}
(宇都宮大学大学院工学研究科¹, JST, ACCEL², 徳島大学工学部光応用工学科³)
- 2s03 立体映像観視時の輻輳・調節応答に基づく自然な立体映像の実現に向けて
日浦人誌 (NHK放送技術研究所)
- 2s04 Hologram Printing Technologyによる奥行き表示
山本健詞 (情報通信研究機構)
- 2s05 Depth of field in a super-multiview 3-D display
Jung-Young Son¹, Hyoung Lee¹, Sumio Yano², Jina Byeon¹, Beom-Ryeol Lee³
(Universal Imaging Lab, Biomedical Engineering Dept.,
Konyang University, Nonsan, Korea¹,
Dept. of Mechanical, Electrical and Electronic Engineering,
Shimane University, Matsue, Japan²,
CG/Vison Technology Research Group, Electronics and
Telecom Research Institute, Daejeon, Korea³)

18:30- 懇親会

3日目 (2017年9月8日金曜日)

9:30-10:30 セッション8 (一般講演)

座長: 原澤賢充 (NHK放送技術研究所)

- 3o01 同名半盲患者の視野部位ごとのサッケード特性
仲泊 聡^{1,2}, 古田 歩³, 高橋あおい¹, 宇山紘史¹,
宮内 哲⁴, 小川景子⁵, 堀口浩史²
(理化学研究所¹, 東京慈恵会医科大学², 前田眼科³,
情報通信研究機構⁴, 広島大学⁵)
- 3o02 時間長判断における知覚と反応の異なる更正機構
柏倉沙耶¹, 本吉 勇² (東京大学教養学部¹, 東京大学大学院総合文化研究科²)

- 3o03 身体前後に呈示された視聴覚情報の知覚的統合
 山崎大暉¹, 三好清文², Altmann Christian³, 蘆田 宏¹
 (京都大学大学院文学研究科¹, 名古屋大学大学院情報学研究科²,
 京都大学大学院医学研究科脳機能総合研究センター³)
- 10:30-10:40 休憩
- 10:40-11:40 セッション9 (一般講演)
 座長：葭田貴子 (東京工業大学工学院)
- 3o04 時系列ターゲットに対する文脈手掛かり効果
 塩入 諭^{1,2}, 朱 冰^{1,2}, 松宮一道^{1,2}, 栗木一郎^{1,2}
 (東北大学電気通信研究所¹, 東北大学情報科学研究科²)
- 3o05 情景画像における色欠損の見落とし
 木村英司¹, 高橋那津美² (千葉大学大学院人文科学研究院¹, 千葉大学文学部²)
- 3o06 日本語色カテゴリーとその個人差類型
 栗木一郎¹, Ryan Lange², 武藤ゆみ子³, Angela M. Brown², 福田一帆⁴,
 徳永留美⁵, Delwin T. Lindsey², 内川恵二⁶, 塩入 諭¹
 (東北大学¹, Ohio State University², 東京工業大学³,
 工学院大学⁴, 千葉大学⁵, 神奈川大学⁶)
- 11:40-13:00 総会・昼休み
- 13:00-14:20 セッション10 (特別講演)
 座長：田邊喜一 (松江工業高等専門学校)
- 眼球運動と画像評価
 山田光穂 (東海大学情報通信学部)
- Visual Fatigue Measurements for 3D Display
 Min-Chul Park¹, Sumio Yano²
 (Korea Institute of Science and Technology, Korea¹,
 Shimane University, Matsue, Japan²)
- 14:20- クロージング